



CMS-2240C

みるサーチ

取扱説明書

このたびは「デンサン みるサーチ CMS-2240C」をお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用にあたって

本製品は、地中配管の管路内点検や通線管路内の点検などに利用するカメラ付き通線器具です。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり指示に従って正しく使用してください。
お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。



危険

この表示は「誤った取扱いをすれば人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します。

本製品にはリチウムイオンバッテリーが組み込まれています。必ず以下の点を守ってください。

- 分解・改造しないでください。
 - 火中に入れてください。
 - 加熱したり、ハンマーでたたく等強い衝撃を与えないでください。
 - 専用アダプターで充電してください。(充電方法は本書記載)
- 液もれ・破裂・発熱・発火などで、感電・火災・大けがをする恐れがあります。



Li-ion



感電



破裂



火災



警告

この表示は「誤った取扱いをすれば人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します。

- 本製品を使用する前に必ず破損箇所、破損部品がないか厳しく点検してください。
- 異常(過熱・発煙・異臭など)が発生したときは使用を中止し、電源を切り、AC/DCアダプタを取り外してください。
- 異物や水等が機器の内部に入ったときは使用を中止し、電源を切り、AC/DCアダプタを取り外してください。
- 機器を落としたりして製品が破損したときは使用を中止し、電源を切り、AC/DCアダプタを取り外してください。
- 充電器は商用電源を利用してください。(火災の危険)
- 重量物ですので十分注意して搬送・設置してご利用ください。(落下事故の原因)
- 傾いているところや不安定な場所で使用しないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因になります。
- 移動しながら使用しないでください。転倒、事故の原因になります。
- AC/DCアダプタは付属されている専用のものを使用してください。指定以外のものを使用しないでください。(火災・故障の原因)
- コード類は強く引っ張らないでください。(故障、断線の原因)
- 可燃性ガス、腐食ガスなどの中では使用できません。あらかじめ使用する場所、管内の状況をご確認ください。特殊用途の場合は、販売店にご確認ください。
- 長時間使用しない時はAC/DCアダプタをはずしてください。
- 改造、分解は絶対にしないでください。
- 修理、保守は当社に依頼してください。



注意

この表示は「誤った取扱いをすれば人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します。

- 本製品は管路内の点検・探査を目的とした機器です。本書記載の指定用途以外に使わないでください。
- 本製品を雨中にさらさないでください。又、湿度の多い場所では使わないでください。(故障、感電の原因)
- 長時間の水中の使用はできません。
- 高温になる所に放置しないでください。(故障の原因)
- リール使用時は、ケーブルの反動で急に飛び出すことがありますので注意してください。
- リール使用時は指などを挟まないようにしてください。
- 使用時は安定した場所にセットし、落下しないようにしてください。
- カメラを太陽や強い光に長時間向けないでください。集光により内部部品の故障・火災の恐れがあります。
- バッテリーは消耗品です。2年をめぐりに交換をお勧めします。また、長時間使用しない場合は、6か月に一度をめぐりに充電してください。
- 子供に触れさせないでください。



使用上の注意

- 内部の改造・分解は絶対にしないでください。分解された場合、いかなる理由でも保証外です。
- カメラケーブルは管路内の点検・探査以外には使用しないでください。(破損、事故の原因)
- 先端カメラ、カメラケーブルなどは精密品です。衝撃や落下、先端カメラの長時間の水中放置は避けてください。カメラケーブルは最大引張荷重2.0kN、最小曲げ半径200mmを守ってください。これを逸脱した使用による破損、断線は有償修理となります。またカメラケーブルは、絶対に90°より小さい角度で曲げないでください。破損の原因になります。(破損、事故の原因)
- 先端カメラとケーブルは確実に接続してください。接続が不完全な場合、先端カメラが外れ、内部が浸水する恐れがあります。この浸水による故障は有償修理となります。
- 使用する管路の直径はφ45mm以上必要です。これ以下の場合、カメラケーブルが通線できないことがあります。
- 先端カメラ、カメラケーブルが破損した場合は、有償にて交換となります。
- カメラケーブルは、過剰な押し込み、引き抜きをしないでください。(破損の原因)
- バッテリー電源は約2年、約500回の充放電で寿命となります。有償にて交換となります。
- 録画機能やモニタ画面は一部英文表記となっております。ご使用前に十分理解してご利用ください。
- 本品は工業用です。いかなる理由でも、生体などへの利用はできません。
- リモコンの電池を入れる方向は十分確認してから指定の電池を挿入してください。
- 法律に抵触する使用は絶対にしないでください。

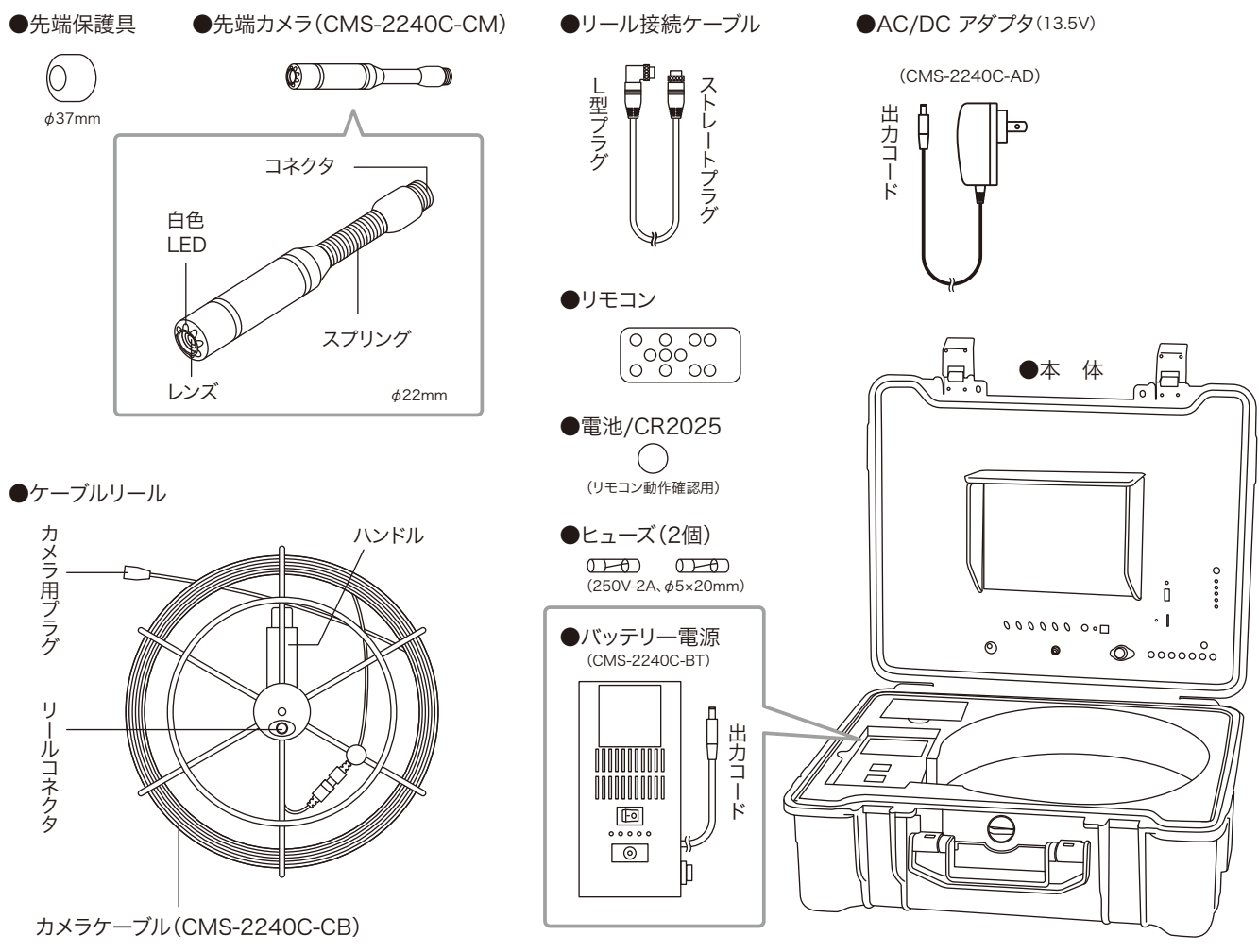


※上記の注意を怠った破損・故障は保証外となり、交換・修理は有償となります。

ご購入後の確認

ご購入後、必ず内容品(構成品)を下記の「セット内容・各部名称」に従って確認してください。
リモコン用電池は動作確認用です。ご使用時は、別途新しい電池を用意してください。
また画像処理用パソコン、外部メモリ、USBケーブル、AVコード等は付属されていません。

セット内容・各部名称



(注)交換部品については11ページ「交換部品について」を参照してください。

構成及び性能

● バッテリー電源 (CMS-2240C-BT) 仕様

D C 入 力 :13.5V 1.7A
リチウムバッテリー :12V 4400mAh
充 電 時 間 :約5時間
使 用 時 間 :約3時間以上
出 力 電 圧 :12V
負 荷 電 流 :1.1A
プ ロ テ ク ト 電 圧 :8.1V
ヒ ユ ー ズ :φ5×20mm

● AC/DCアダプタ (CMS-2240C-AD) 仕様

定 格 入 力 電 圧 :AC100V~240V
定 格 入 力 電 流 :0.6A
定 格 周 波 数 :50/60Hz
定 格 出 力 電 圧 :DC13.5V
定 格 2 次 電 流 :1.7A

● 先端カメラ (CMS-2240C-CM) 仕様

サ イ ズ :φ22×164mm
視 野 角 :60度
照 明 :8LED調光(約0.8 lx)
カ メ ラ 解 像 度 :420TV本

● カメラケーブル (CMS-2240C-CB) 仕様

ケ ー ブ ル 径 :φ6~7mm
ケ ー ブ ル 長 :約40m
リ ー ル 径 :約φ320mm
最 小 通 線 管 径 :φ45mm以上
材 質 :ファイバー

● 使用環境

本 体 :-10~40°C、常湿(屋内仕様)
カメラ及びケーブル :-20~50°C、常湿、IP 56
(IP 56:一時的な水没に対応。長時間及び高水圧は不可)

● モニタ

L C D パ ネ ル :10インチ
解 像 度 :800×600

● 録画機能 (外部メモリが必要です)

解 像 度 :640×480
外 部 出 力 :USB 2.0、microSD 出力
レ コ ー ド 形 式 :AVI
対 応 メ モ リ カ ー ド :micro SD、micro SDHCカード

● 録音機能 (録画と同時記録)

● リモコン (付属の電池は動作確認用です)

使 用 電 池 :CR2025

● 本体

サ イ ズ :520×430×210mm

● 質量

総 質 量 :約12kg

準備

1. ヒューズの取付け

まず使用する前に「バッテリー電源」に、付属のヒューズを取付けてください。
1つは予備です。(図-1参照)

2. 充電について

バッテリー電源の「ON/OFF」スイッチをOFF(○ポジション)にした状態で「AC/DCアダプタ」をバッテリー電源へ接続し、その後ACコンセントに接続して電源を供給します。(図-1参照)
充電中は赤色LEDが点灯し、充電が完了すると緑色LEDが点灯します。充電時間は、約5時間以上です。
使用しながらの充電は可能ですが、時間がかかります。また、100%の充電はできません。

3. AC電源使用について

「AC/DCアダプタ」を使用します。出力コードを本体パネルの「本体電源入力」に接続後、コンセントへ差し、電源を供給します。(図-2参照)

4. バッテリー電源使用について

使用時間に制限があります。(約5時間)
環境によって多少使用時間が変わります。
「バッテリー電源」の出力コードを、本体パネルの「本体電源入力」に接続します。(図-3参照)
バッテリーの残容量は、「バッテリーレベル」で確認できます。

注意

各ケーブルや先端カメラの着脱は、必ず電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままでの着脱は故障の原因となります。
本製品は専用のAC/DCアダプタ、又はバッテリー電源を使用してください。それ以外で使用すると故障します。各供給電源コードは、絶対に加工しないでください。

5. カメラケーブルの接続について

a. カメラを装着

「カメラケーブル」の「カメラ用プラグ」に「先端カメラ」を装着します。(図-4参照)

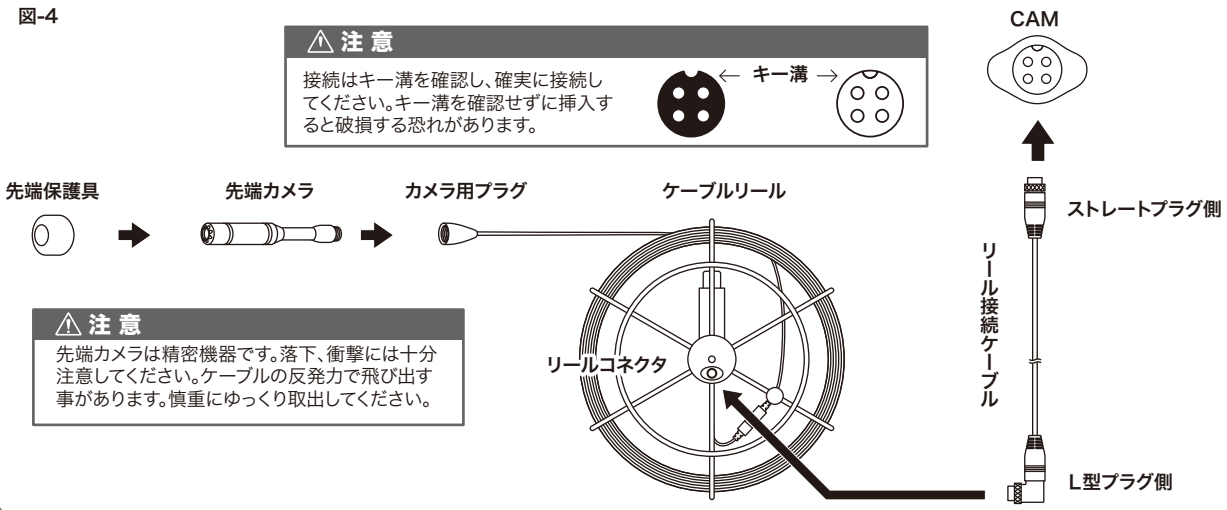
b. 本体パネルとの接続

ケーブルリールのリールコネクタと本体パネルの「CAM」ソケットを「リール接続ケーブル」で接続します。
「リール接続ケーブル」のストレートプラグ側を本体の「CAM」ソケットに接続します。L型プラグ側をリールコネクタに接続します。

注意

端末に保護キャップの付いたケーブルは、使用時に保護キャップをはずし、使用後もとどおり保護キャップをつけてください。ケーブルの端末によって保護キャップの構造が違いますので、間違えないようにしてください。
電源を入れたままでの着脱(各ケーブルコネクタの着脱、先端カメラの着脱)は、絶対におやめください。製品の故障の原因となります。必ず電源を切ってから着脱してください。
ケーブルとカメラは確実に接続してください。緩んでいると防水性不備やカメラ抜けが発生します。
先端カメラ及びカメラケーブルは精密機器です。使用状態によっては、破損する事があります。管路では慎重に使用してください。

図-4



注意

旧機種(CMS-2240)とバッテリー電源との互換性はありません。(AC入力ソケットと充電用AC/DCアダプタが違います。)
同じ旧機種同士(CMS-2240B)でもロットが違くと使えません。

図-1

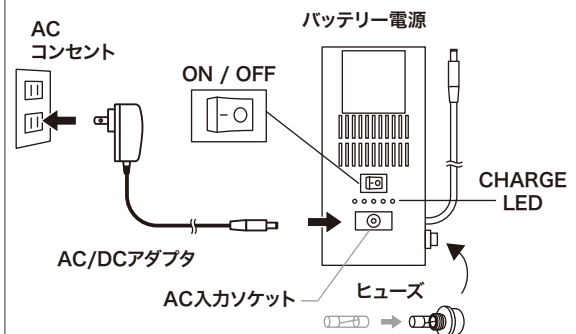
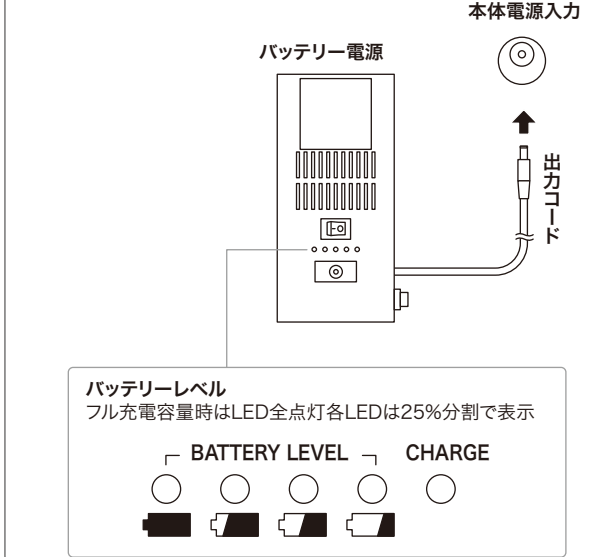


図-2



図-3



使用方法 1 (使用の流れ)

ご使用にあたって
ご購入後の確認
セット内容
構成及び性能
準備
作業
終了
使用方法 1
使用方法 2
使用方法 3
使用方法 4
メニューに関して
交換部品について
バッテリーに関して
修理について
保証について

準備

① コード・ケーブル類接続

電源供給の種類に合わせてコード又はケーブル、カメラのケーブルリール等を接続します。

② 電源供給 (AC電源orバッテリー電源)

- AC電源使用の場合は、まず「AC/DCアダプタ」の「出力コード」を本体パネルの「本体電源入力」に接続します。その後、AC100Vを供給します。
- バッテリー電源使用の場合は、まず「バッテリー電源」の「出力コード」を本体パネルの「本体電源入力」に接続します。その後、「ON/OFF」スイッチをON(←ポジション)にします。バッテリー容量が十分であることをバッテリーレベルで確認してください。(未充電の場合は充電してください)電源が供給されたらパネルの電源LEDが赤く点灯します。

③ モニタ電源ON

パネルの「POWER」スイッチを押すと電源LEDが緑に変わり、「SYSTEM」LEDが点灯します。約30秒後、モニタに先端カメラの映像が映し出されます。(自動起動)もし映らない場合は、モニタの設定によるものか、接続不良が考えられます。モニタの調整 (P.6) または、各接続の確認をしてください。

④ 作業開始

P.5~6

使用方法 (P.5~6) 参照

録画 (DVRシステム使用)

再生 (DVRシステム使用)

使用方法 DVRシステム (P.7~10) 参照

P.7~10

⑤ 作業終了

ケーブルの末端に保護キャップが付いていたものは保護キャップを付けて収納してください。末端によってキャップの構造が違いますので間違えないように注意してください。

⑥ モニタ電源OFF

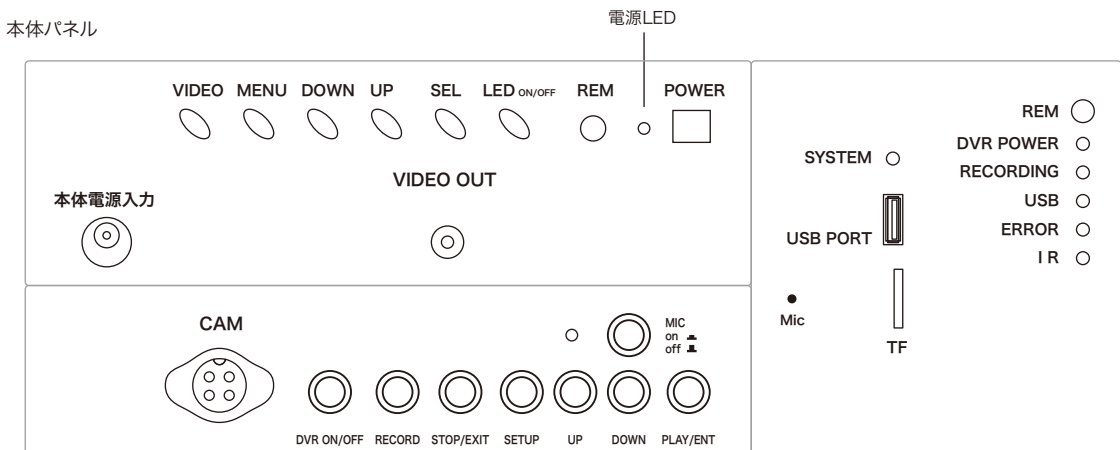
パネルの「POWER」スイッチを押すと電源LEDが赤に変わり、モニタ電源が切れます。

⑦ 供給電源OFF

AC電源使用の場合は、まず電源コンセントを抜いてから「出力コード」を本体パネルの「本体電源入力」から抜きます。バッテリー電源使用の場合は、まず「ON/OFF」スイッチをOFF(○ポジション)にし、パネルの電源LEDが消灯してから「出力コード」を本体パネルの「本体電源入力」から抜きます。

⑧ コード・ケーブル類解除

終了



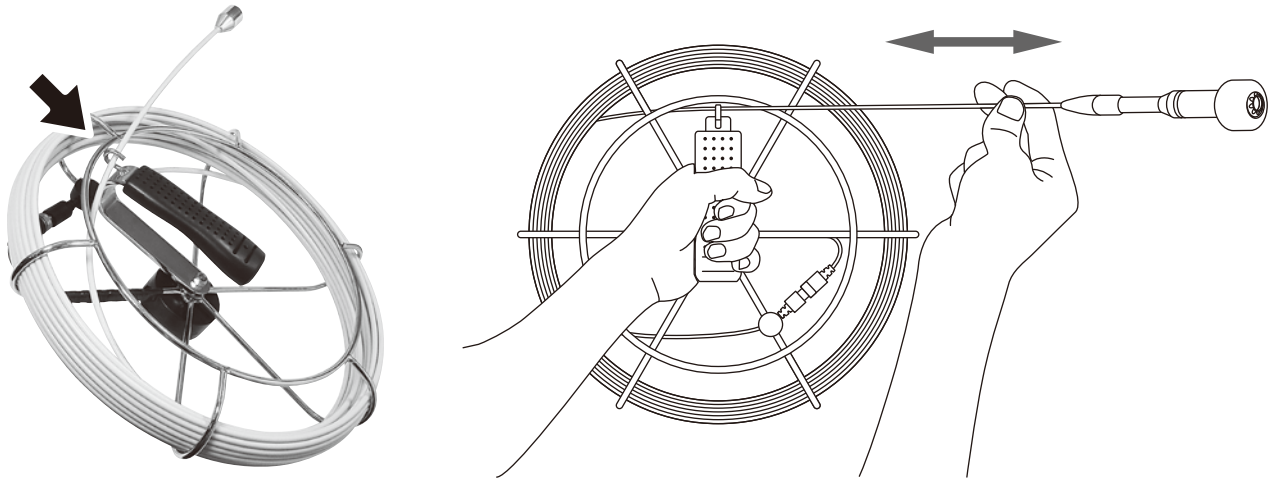
⚠ 注意

- 本製品は映像及びマイク音声記録ができます。ただし、本体での再生は映像のみで、音声の再生はできません。
- 本製品の使用に関してはDVRシステムの使い方 (P.7~ 参照) を理解してからご使用ください。
- モニタの制御項目等は英語表現です。(System Settingで設定) 日本語には対応していません。
- DVRシステムは、映像の編集機能などはありません。現場での再生確認作業などにご利用ください。
- 電源を入れたままでの着脱 (各ケーブルコネクタの着脱、先端カメラの着脱) は、絶対におやめください。製品の故障の原因となります。必ず電源を切ってから着脱してください。

■ 使用方法 2(作業)

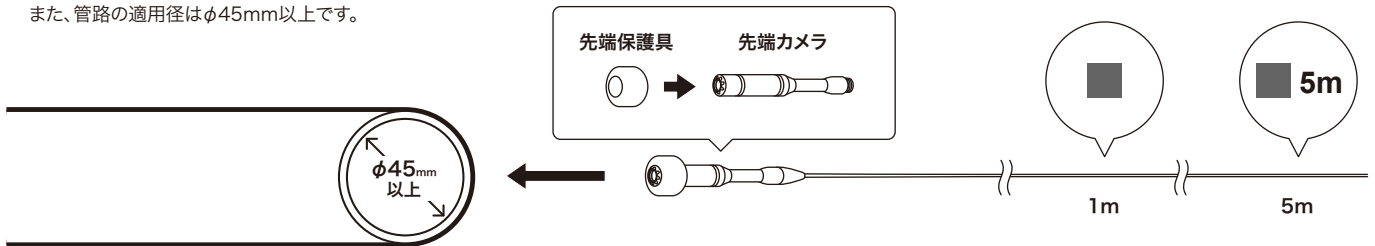
1. カメラケーブル繰り出し

下図のようにハンドルの上にあるフックにひっかけてカメラケーブルの先端をリールの外側に出します。片方の手でハンドルをにぎり、もう片方の手でカメラケーブルをにぎって繰り出します。ケーブルの反発力で飛び出す事があります。慎重にゆっくり繰り出してください。



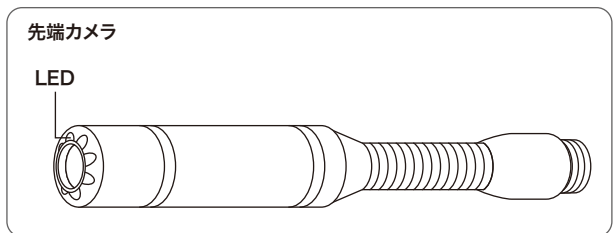
2. 管路内点検について

管路内点検では、先端カメラに先端保護具を取付けて作業してください。
カメラケーブルには長さの目安に1m毎にマーク(5m毎に長さ)が表示されています。
また、管路の適用径はφ45mm以上です。



3. LED照明のON/OFF

先端カメラには、8個のLEDがあります。
本体パネルの「LED ON/OFF」スイッチを押す事により、LEDが点灯(ON)/消灯(OFF)します。
明るさのバランス調整については、「7. モニタの調整・LEDの明るさ調整」(P.6)参照のこと



4. 外部出力

付属のモニターではなく、外部のモニターに接続することができます。
パネルの「VIDEO OUT」のビデオ出力端子に外部のプラグを差してご利用ください。

NTSC出力: 1Vp-p 75Ω



▲ 使用上の注意

- 該当管路によっては障害物などがある場合があります。無理な押し込み・引張衝撃はケーブルや先端カメラを破損させますのでお止めください。
- 該当管路に水たまり(雨水等)がある場合は長時間の浸水は避けてください。
- 該当管路の適用径はφ45mm以上です。これ以下の管路へのご使用はお止めください。
- カメラケーブルの無理な使用はお止めください。
・最大引張荷重: 2.0kN ・最少曲げ半径: 200mm
- カメラケーブルは絶対に90°以下には曲げないでください。

使用方法 3 (モニタの調整)

1. ビデオチャンネル切替

パネルスイッチの「VIDEO」を押すことで、ビデオ1とビデオ2を切り替えます。
ビデオ1:カメラ映像
ビデオ2:カメラ映像・DVR(録画機能)トップメニュー画面

ビデオ切替はオート(AUTO)になっており、カメラ映像はどちらでもモニタで見えますが、DVR(録画機能)を使用する場合、モニタをビデオ2にしてください。

パネル拡大図

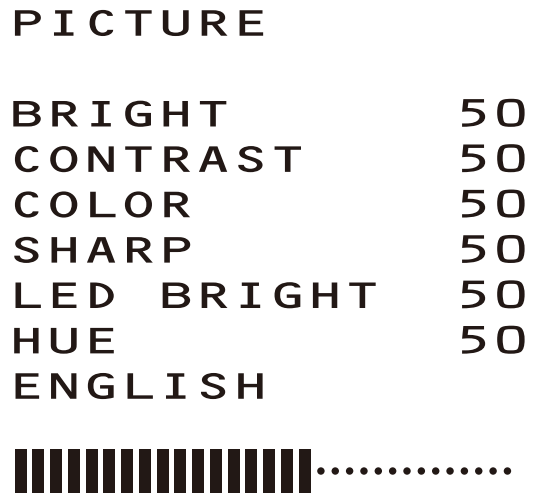


2. モニタの調整・LEDの明るさ調整

モニタは使用者が使いやすいようにカスタマイズできます。
(出荷時に設定されているので基本的には調整の必要はありません)
画面が点いている状態で「MENU」を押します。
しばらく何もボタンを押さなくてもか、再度「MENU」を押すと表示は消えます。
「SEL」で項目の選択、「UP」「DOWN」でレベルの増減ができます。

- B R I G H T** : LCDモニタの明るさを調整する機能
- C O N T R A S T** : 映像のコントラストを調整する機能
- C O L O R** : 映像のカラー調整機能(色の強弱を調整する)
- S H A R P** : 映像の鋭さを調整する機能
- L E D B R I G H T** : 先端カメラのLEDの明るさバランス調整
(LEDの輝度を直接調整するものではありません)
- H U E** : 色合い調整をする機能
- E N G L I S H** : 設定した言語を表示

モニタ調整画面

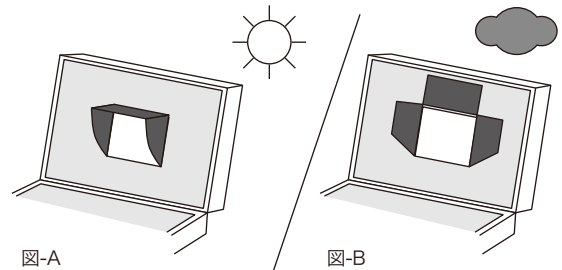


3. モニターフードについて

モニターフードの固定は2種類ありますので場合によって使い分けてください。

- ・直射日光など明るい場所で使用する場合はコの字形に組み立ててください。(右図-A)
- ・適当な暗さでモニターが見やすい場合はフードを広げてください。磁石で固定できます。(右図-B)

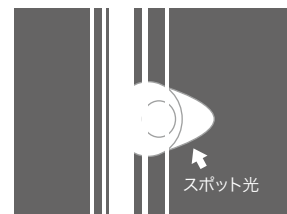
モニターフード使用例



4. CCD特有の現象

- 1.スミア**
強いスポット光など高輝度のものを被写体にした時、画面に帯状の縦線や画乱れが発生することがあります。
- 2.折り返しひずみ(モアレ)**
細かい線や縞模様などを被写体にした時ギザギザのちらつきが見えることがあります。

スミア



5. モニタ使用に関して

LCDモニタは、直射日光で長時間放置されるとLCDが焼きつきます。
従って直射日光で使用する場合は、日差しなどで保護してください。

ご使用にあたって
ご購入後の確認
セット内容
構成及び性能
準備
使用方法 1
使用方法 2
使用方法 3
使用方法 4
メンテナンスに関して
交換部品について
パネルに関して
修理について
保証について

使用方法 4 (DVRシステムについて)

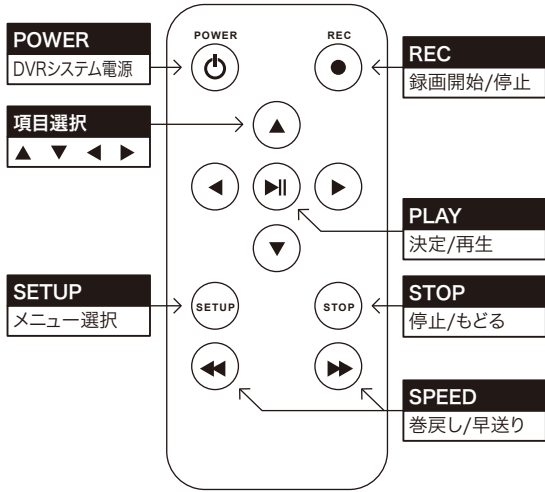
1. DVRシステム使用の流れ

DVRシステムとは本器の録画・再生機能のことです。
 モニタ画面を見ながら、リモコン(又はパネルボタン)で操作します。
 モニタが「VIDEO 2」になっている状態で、リモコンの「POWER」ボタンを押すことでDVRシステムが起動します。

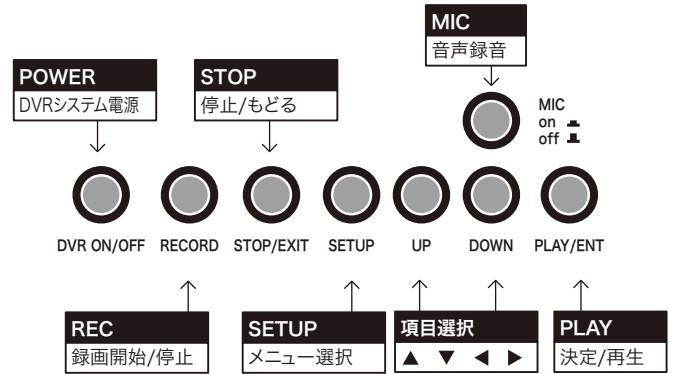
注意

システムの操作にはリモコン(又はパネルボタン)を使用します。
 はじめてご利用になる場合は、裏面に挟んである絶縁シートをはずしてご利用ください。
 また、付属の電池(CR2025)は動作確認用です。ご使用の際は新しい電池をご用意ください。

リモコン操作



パネルボタン操作

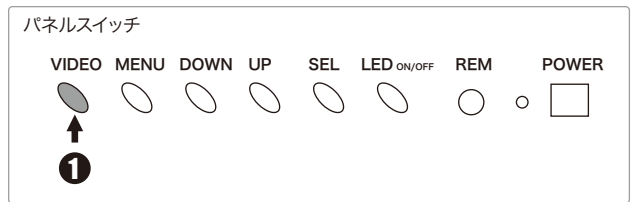


2. 録画、再生方法

録画機能を使うには別途市販されているUSBメモリ(又はマイクロSDカード)をご用意ください。
 解像度や映像信号等も設定変更できます。
 初期設定では1GBのUSBメモリで約1時間の録画が可能です。
 メモリの容量に合わせて設定変更してください。

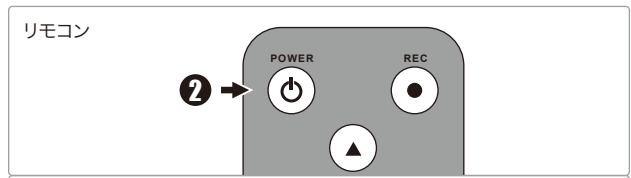
① ビデオチャンネル切替

パネルスイッチの**VIDEO**を押し「VIDEO 2」にします。
 (押す毎にチャンネルが切り替わります。)



② DVRシステム電源ON

リモコンの「POWER」、又はパネルの「DVR ON/OFF」を押します。
 パネルの「DVR POWER」ランプが点灯し、DVRシステムのトップメニュー画面が表示されます。



注意

リモコンは、パネル右側の赤外線受光部「REM」に向けて押してください。



ご使用にあたって
 ご購入後の確認
 セット内容
 構成及び性能
 準備
 使用方法 1
 使用方法 2
 使用方法 3
使用方法 4
 メンテナンスについて
 交換部品について
 パネリ塵について
 修理について
 保証について

使用方法 4 (DVRシステムについて)

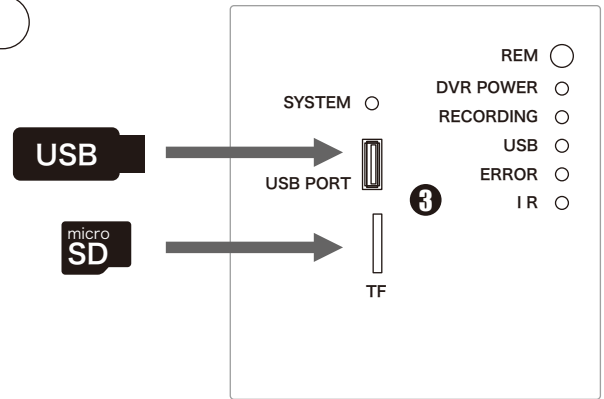
③ 外部メモリ接続(USBメモリ、マイクロSDカード)

パネルの「USB PORT」にUSBメモリ、又は「TF」にマイクロSDカードを差しします。

しばらくして画面に「USB CONNECTED!」の表示が出て、パネルの「USB」ランプが点灯します。

注意

- 両方同時に使用することはできません。又、メモリには挿入方向があります。確認して挿入してください。
- USBメモリ、又はマイクロSDカードを差しても、「USB」ランプが点灯しない場合、「Record Setup」を確認してください。
「トップメニュー」 → 「Record Setup」 → 「Storage Device」 → USBなら「USB Device」を選択し、SDなら「SD Card」を選択します。



④ 録画/静止画撮影

リモコンの「REC」を押すと録画を始めます。(パネルボタンの「RECORD」も同様)
録画中はパネルの「RECORDING」ランプが点灯し、録画時間が表示されます。

録画中に再度「REC」(又は「RECORD」)を押すと静止画を記録します。
記録の際、「Take Photo OK!」が表示されます。

録画の停止はリモコンかパネルボタンの「STOP」(又はパネルの「STOP/EXIT」)を押します。

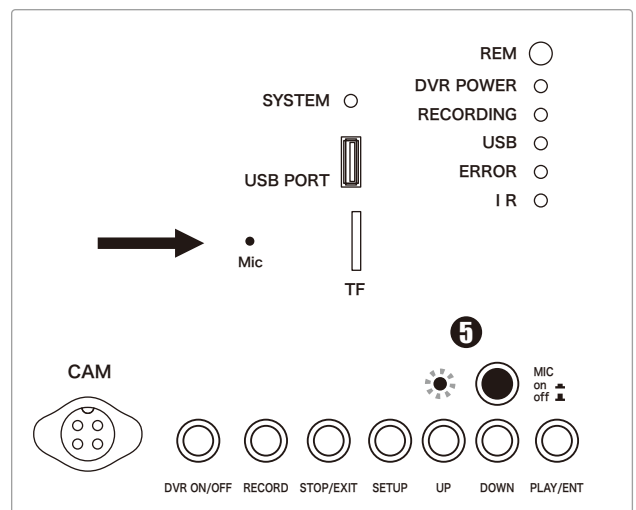
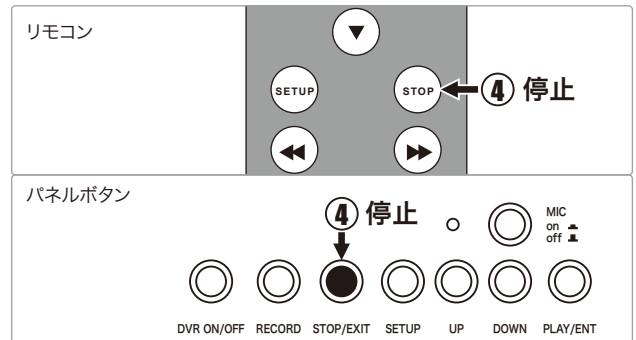
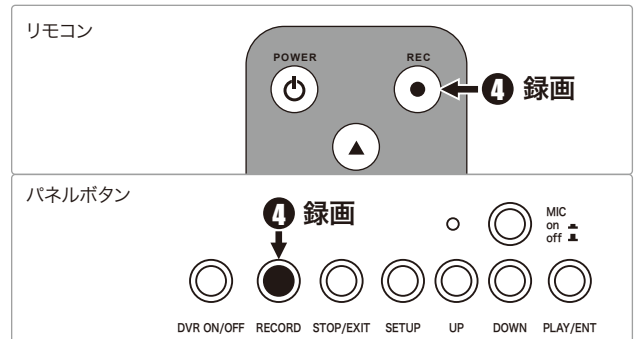
トップメニュー画面からも録画選択が可能です。
トップメニューの「Record Video」を選択し、リモコンの「PH」(又は「PLAY」(決定/再生)又はパネルボタンの「PLAY/ENT」)を押すと録画を始めます。
「RECORDING」ランプが点灯し、録画時間の表示が出ます。
止めるには「STOP」又はパネルボタンの「STOP/EXIT」ボタンを押します。

注意

- 録画機能
- ・録画解像度: 640×480
 - ・記録必要容量: 0.5GB / 1h
 - ・動画形式: AVI
 - ・静止画形式: JPG

⑤ 録音

録画の際、パネル面のマイク(Mic)から音声を録音することができます。
「MIC」ボタンを押すことで、ON/OFFできます。
マイクがONの時は緑LEDが点灯します。




使用方法 4 (DVRシステムについて)

6 再生

トップメニュー画面の「Play Video」を選択し、再生したい動画データを選択し再生します。
(決定はリモコンの「PLAY」)、又はパネルボタンの「PLAY/ENT」)

「Browse File」からも、リスト選択して再生できます。
動画は「iVideo」、静止画は「iPhoto」フォルダにあります。
(P.10参照)

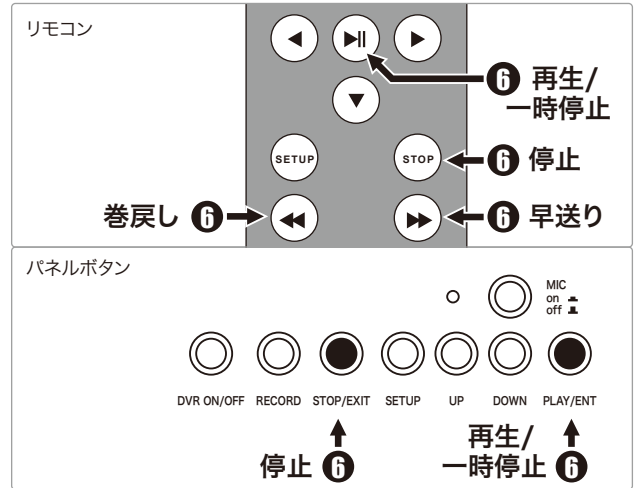
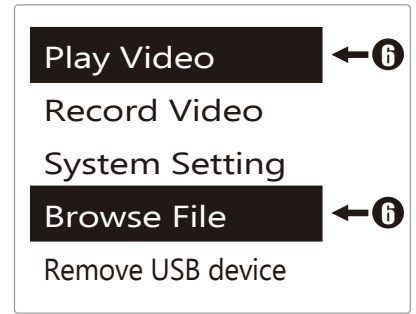
リモコンの  (決定/再生)、又はパネルボタンの「PLAY/ENT」を押すと再生し、もう一度押すと一時停止します。

停止するにはリモコンの「STOP」(停止/もどる)、又はパネルボタンの「STOP/EXIT」を押します。

早送り、巻き戻しはリモコンで操作できます。(右図参照)


注意

- トップメニュー画面に戻るには、リモコンの「STOP」(停止/もどる)又は、パネルボタンの「STOP/EXIT」を数回押してください。
- 再生するUSBメモリ、又はマイクロSDカードが挿入されているか確認してください。
また、「USB」ランプが点灯していることを確認してください。
- この機器では、音声の再生はできません。



7 外部メモリ取外し

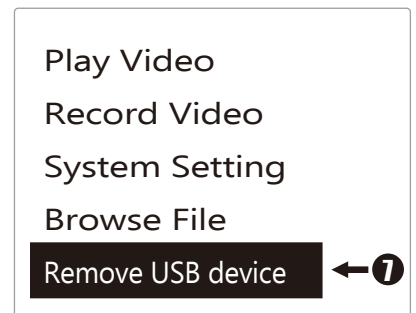
トップメニュー画面の「Remove USB device」を選択します。
「Remove USB device OK / Cancel」と表示されるので「OK!」を選択し、「You can now remove the usb device safely」と表示されたら、USBメモリを取り外してください。
(※マイクロSDカードも同様にしてください。)

リモコンの  (決定/再生)、又はパネルボタンの「PLAY/ENT」を押すと決定します。

注意

パソコンでのデータ使用について

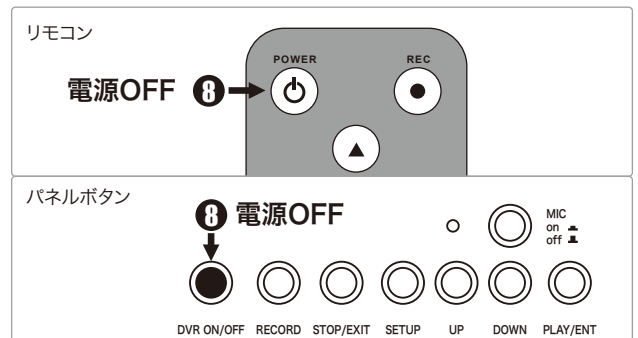
パソコンの使用環境により、映像データの再生・編集等ができない場合があります。
必要なコーデックがインストールされていないと、パソコンの動画再生ソフトで再生できない場合があります。
適切な動画再生ソフトをインストールしてください。
尚、インストールは信頼性の高いものを使用してください。



8 DVRシステム電源OFF

リモコンの「POWER」、又はパネルの「DVR ON/OFF」を押します。

DVRシステムの電源が切れ、「DVR POWER」ランプが消灯したのを確認してください。



ご使用にあたって

ご購入後の確認

セット内容

構成及び性能

準備

使用方法 1

使用方法 2

使用方法 3

使用方法 4

メンテナンスに関して

交換部品について

バッテリーに関して

修理について

保証について

使用方法 4 (DVRシステムについて)

3. 画面説明・各種設定

● トップメニュー画面

DVRシステムの電源を入れたら起動画面のあとトップメニュー画面になります。

① Play Video (動画再生)

動画リストが表示されます。
リストを選択すると再生します。

② Record Video (録画開始)

選択すると、録画がスタートします。

③ System Setting

各種設定画面になります。

- ・Clock Setting: 日付・時計の設定ができます。
- ・Language Setting: 言語選択ができます。
Chinese (中国語)、English (英語) から選択できます。
- ・System:
 - SoftVer/ProductV...システムのバージョン情報
 - Disk Space...メモリの空き容量情報など。
- ・Record Setup: デバイス選択ができます。
USB Device、SD Cardから選択できます。
- ・Play Mode: (No Circle)、(One Circle)、(List Circle) の3種類から選択できます。
- ・Master Reset: 初期設定に戻します。
- ・Firmware Update: この機能は使用しません。

リモコンの **▲▼** (項目選択)、又はパネルボタンの「UP」か「DOWN」を押すと選択します。

リモコンの **▶** (決定/再生)、又はパネルボタンの「PLAY/ENT」を押すと決定します。

リモコンの「STOP」 **■** (停止/戻る)、又はパネルボタンの「STOP/EXIT」を押すと、1つ前に戻ります。

④ Browse File (ファイル参照)

録画、撮影した記録のリストが表示されます。
選択して再生や名称の変更、削除ができます。

iVideo(又はiPhoto)ファイルを選択後
決定ボタン(PLAY/ENT)を押すと再生(又は表示)します。

メニュー選択ボタン(SETUP)を押すとメニューを表示します。

- ・Rename: ファイル名変更します。
- ・Delete: 削除します。
- ・Delete All: ファイルを全削除します。

⑤ Remove USB device

メモリを取り外す時に選択します。

「Remove USB device OK / Cancel」と表示されるので「OK!」を選択し、「You can now remove the usb device safely」と表示されたら、USBメモリを取り外してください。

トップメニュー画面

① Play Video	再生メニュー画面へ
② Record Video	録画待機画面へ
③ System Setting	システムセッティング画面へ
④ Browse File	USBメモリファイル情報
⑤ Remove USB device	メモリ取外し

System Setting 画面

Clock Setting	日付・時計の設定など
Language Setting	言語選択など
System	ソフトウェアバージョン情報など
Record Setup	デバイス選択
Play Mode	再生モード選択
Master Reset	初期設定に戻す
Firmware Update	この機能は使用しません

Browse File 画面

iVideo	動画リストファイル
iPhoto	静止画リストファイル
enc.idx	この機能は使用しません
System Volume Infomation	この機能は使用しません

Browse File メニュー

Rename	ファイル名変更
Delete	削除
Delete All	全削除

メンテナンスに関して

- 使用後はUSBメモリを外し、データはパソコン等に保管してください。
- カメラ、ケーブル等の先端に保護キャップがついている場合、適合する保護キャップを取付けて保管してください。
- カメラケーブルはリールに収納してください。
- 先端カメラ、ケーブル等が汚れている場合は清掃してください。
特にケーブルは柔らかい布で汚れや水分を拭取ってください。
- 保存温度は-20～50℃以内で保存してください。
- カメラ部に結露などしないように、乾燥剤などを入れて保存してください。
- バッテリー電源には寿命があります。約2年、約500回の充電で交換してください。(下記「交換部品について」「バッテリーの廃棄について」参照)

交換部品について

交換部品として下記の部品があります。必要な時は、有償にて交換となります。販売店または当社にご相談ください。

- ・カメラケーブル …… CMS-2240C-CB
- ・先端カメラ …… CMS-2240C-CM
- ・バッテリー電源(約2年毎に交換してください。) …… CMS-2240C-BT
- ・AC/DCアダプタ(13.5V) …… CMS-2240C-AD
- ・ヒューズ：250V-2A、5×20mm(ユーザーにてご用意ください。)

△ 注意

旧機種(CMS-2240)とバッテリー電源との互換性はありません。
(AC入力ソケットと充電用AC/DCアダプタが違います。)
同じ旧機種同士(CMS-2240B)でもロットが違うと使えません。

バッテリーの廃棄について

- 内部に使用されているバッテリーは交換時に販売店または当社に返却してください。
- お客様が廃棄される場合は、別途規制されている方法にて処分してください。

修理について

本製品は基本的には部品交換修理対応(有償)となります。
先端カメラ、カメラケーブルなど部品修理できない場合があります。
修理には2～3ヶ月必要になる場合があります。

保証について

保証期間：購入日より1年間(ただし保証期間内でも次の場合は保証できません)

- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変
- 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用上の誤り、保管方法が原因で生じた故障、異常電圧による故障
- 分解・改造での破損
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
- その他当社の責任とみなされない故障
- お買い上げ年月日の証明できる伝票等のない場合
- カメラケーブルに関しては、使用中の破損は保証外です。
- 一度でも管路探索等に使用した製品の返却・交換はできません。
- 破損・置き忘れ等、使用時に発生した故障
- 長時間の浸水における先端カメラの故障
- 先端カメラの保護具などの消耗品に関する破損・キズなど
- バッテリーなどの消耗品
- 制限値以上の無理な使用に伴うカメラケーブルの破断・破損
- 本製品の使用における「事故」「録画データ消失」「管路破壊」「その他使用に伴う事故」など製品本体の不具合事項
以外は如何なる理由があっても保証外です。またその発生工事費用等に関しては、一切適用範囲外です。

△ ※上記に該当する場合と保証期間を過ぎているものは有償修理となります。

ジェフコム株式会社

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16